

# 水浄化など環境学が

ネパール  
大学生ら13人

## 市内若者と意見交換

GW三島



三島市の若者と環境保全について意見交換する  
ネパールの大学生＝三島市の市民活動センター

三島市を訪れ、源兵衛川や三島梅花藻の里などの視察、清掃活動に取り組みながら環境保全について学んでいる。GW三島は14日、ネパールの大学生と市内の若者による環境資源を生かした町づくりについての意見交換会を三島市民活動センターで開いた。

初めにネパールの大学生が「水の浄化システムが不十分」「環境教育は若者以外への認知度が低い」など自国の環境(社会)問題を提起。さらに、昨年起きた大地震の影響による生活環境の悪化や厳しい避難生活を説明した。これを踏まえ、市内の若者は「時間がかかっても環境教育を進めよう」と呼び掛けた。

ネパールの大学生らは15日の三島夏まつりも視察。16～19日に東京都を訪れ、20日に帰国する。

NPPO法人グラウン  
ドワーク(GW)三島  
業の一環で、ネパ  
ールの大学生ら13人が三